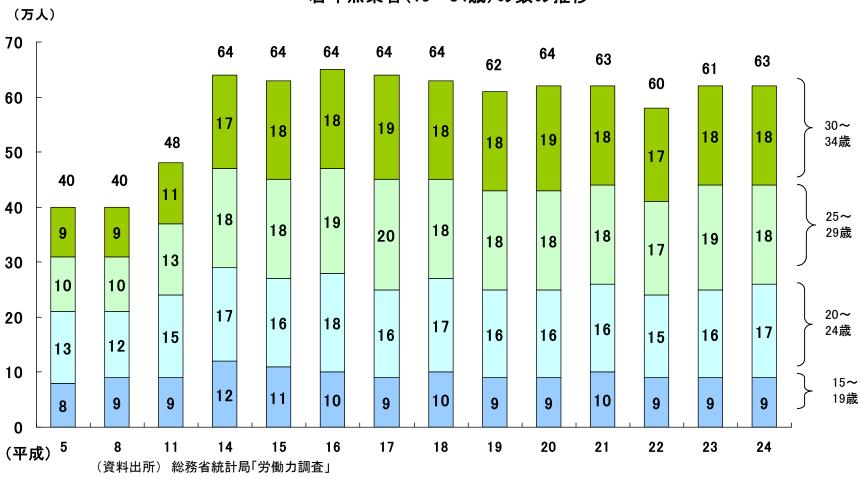
施策番号 V-2-1 若年者等に対して段階に応じた職業キャリア支援を講ずること

> 平成25年7月4日 厚生労働省職業能力開発局

ニート(15~34歳)の数の状況

- 15~34歳のニート(注)の数は、平成14年以降60万人台の水準で推移
- 〇 平成24年は、前年より2万人の増加

若年無業者(15~34歳)の数の推移



(注)「ニート」の定義は、15~34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者

地域若者サポートステーション事業 ~ニート等の若者の職業的自立支援を行う~



現状

- ニート(15~34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者)の数は、若者が減っているにもかかわらず、高止まり。 これは、本人にとって損失であるだけでなく、労働市場に参入せず生活保護へ転落するおそれがあるなど社会にとっても大きな損失。
- ニート等の若者の職業的自立を支援するためには、各人の置かれた状況に応じて支援を行っていくことが必要。
- このため、「地域若者サポートステーション」(愛称:サポステ)において、地方自治体と協働し、地域ネットワークを活用した支援 を実施している(平成18年度~。若者支援の実績・ノウハウのあるNPO法人等に委託して実施。)。

24年度補正予算の内容 (予算額:60億円)

サポステの設置拠点を拡充するとともに、「サポステ・学校連携推進事業」により学校との連携を構築し、在学生・中退者支援を推 進することによりニート化の未然防止等を図る。加えて、合宿形式を含む生活面等のサポートと職場実習の訓練を集中的に行う「若年 無業者等集中訓練プログラム事業」を実施し、ニート等の若者の就労を強力に支援する。

口

訓

IJ

フ

支援が必要な若者

222

地 域 若 者 サ ポ ートステ ーション (全 国 1 1 6 か 所 → 1 6 0 か 所 ※)

○サポステ相談支援事業

- キャリア・コンサルタント等による職業的自立に向けた専門的相談を実施
- 各種就職支援プログラム(職場体験等)を実施
- 各種セミナー等を通じた啓発、他の若者支援機関に誘導(リファー)

〇サポステ・学校連携推進事業(新規)

- 在学生に対するアウトリーチ(訪問支援)
- サポステと学校等との中退者情報の共有による中退者支援の強化
- 不登校期間が長期に及ぶ者等に対する学び直し支援

〇 若年無業者集中訓練プログラム事業 (新規)

合宿形式を含む生活面等のサポートと職場実習の訓練を集中的に実施。

- ・職場実習(OJT訓練)による基礎的能力の付与
- 基礎的資格の取得支援
- 就職活動の基礎知識等の獲得

NPO等の支援プログラム

• 就労基礎訓練

教育機関

地域社会

自治会、

町内会等

等

・ボランティア活動 等

地域ネットワークを活用した支援

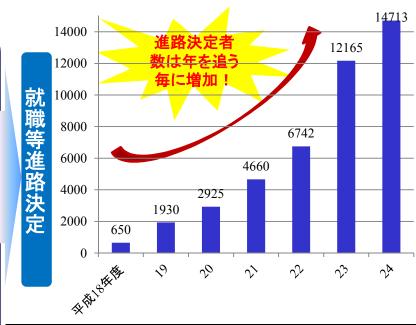
地方自治体の支援プログラム

- ・セミナー、キャリア相談会
- ・農業体験

保健・福祉機関

- ・社会適応訓練
- ・ひきこもり相談

【サポステの実績の推移】



	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
設置箇所数	25	50	77	92	100	110	116